

☆新聞の中に書いてある魚の中に口をどじている魚がいます!どきかな?



# めでたいでんしゃ

発行日  
2019年  
8月18日  
発行  
附天小5年  
岸原大和

「走る縁起物」とは?。

和歌山県には「走る縁起物」があるのを知っていますか?その正体は「めでたいでんしゃ」。

大阪難波と和歌山の和歌山市を結ぶ南海電鉄・南海本線の支線「加太線」です。

二〇一六年四月二十九日から運行を開始しました。加太線の愛称は「加太さかな線」といい、海沿いをゆったりと走る列車です。名物「加太の鯛」と加太の観光名所

ピンク色のめでたいでんしゃ「さち」のデザインは、車内のシートは鯛の模様をちりばめ、吊り草は魚の形をしています。しかも各車両に1つハート形の吊り草があります。ロールカーテンは魚を獲る網をイメージした柄になっています。



オリジナルのシートは全部で3種類



淡島神社の縁結びをイメージしたもので乗るだけでめでたい気分になる、と乗っていたいの喜びをこめ、名付けられました。僕が初めて乗ったのは、ピンク色のさちです。家族で海水浴へ行った時です。ぐうぜんだったのうれしかったです。



▲入口で魚がお出迎え



ユニークな内装を楽しんで和歌山市駅から加太駅までの約25分間は、あという間にです。

水色のめでたいでんしゃ「かい」



二〇一七年十月七日に登場。男の子です。運転席の後ろの窓には「さち」と同じく鯛の目がデザインされています。外観にデザインされた、ウロコも「さち」と同じです。

赤色のめでたいでんしゃ「なな」



二匹の電車「さち」と「かい」は二〇一八年に結婚を発表、そして二〇一九年三月に三つ目の電車「なな」が運行開始され、オープニングセレモニーが開かれました。二匹が結婚した事にもびっくりですが子供が生まれるユニークな設定にまたびっくりしました。床面には運勢を占う組紐のあみだくじがプリントされています。シートには加太さかな線七駅のご利益マークや魚とおひなさまを表現した縁起のよい柄。車内にはだるまや招き猫のオブジェ、おみくじつきのつり草。水引やハートをモチーフにしたロールカーテンで縁結びシートなど、縁起物づくしです。乗るだけでご利益がありそうな楽しさ溢れるこの電車です。



体験してみてください。

内装は海の中をイメージしたもの。魚だけでなくかわいい海の生き物がいっぱいです。床は海面をイメージしたもので、仕掛けも沢山!!

## 運行日にフレンド

毎日固定されているわけはありません。土休日にめでたいでんしゃの運行が予定している時刻

和歌山駅発	8:51	9:55	10:55	11:55	16:15	17:17	18:26
加太駅発	9:24	10:27	11:27	12:27	16:43	17:46	18:56

ピンク色「さち」→ 3, 6, 9, 12月  
水色「かい」→ 2, 5, 8, 11月  
赤色「なな」→ 1, 4, 7, 10月

絶対のり魚!!

乗っているだけで心が弾むような工夫いっぱい電車です。沢山ある仕掛けを、色々探してみてください。他にも乗るのが楽しい電車があるの調べてみてください。

☆答え ...「さち」のシートの写真と下の写真の間。みんなはみつけたかな?